

輝ける町制施行125周年を迎えて

広報

No.658

小さくてもきまぐれと
光る美しいまち

新年あけましておめでとうございませう。

2018年の新しい年を迎え、町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を健やかに迎え、のことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より町政運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、歴史は遡り、明治26年6月30日、「下諏訪村」が「下諏訪町」に改称されました。町では、6月30日を町制施行記念日としていますが、本年は節目となります。町制施行125周年を迎えます。迎えた記念すべき年を更なる飛躍の起点とすべく、町民の皆様と共にこの喜びを分かち合い、100年と四半世紀の長き歴史の1ページを飾るに相応しい記念式典のほか、町制施行100周年を機に友好交流を開始し、25年を経過した愛知県南知多町と、当町では初めてとなる姉妹都市の提

携をするなど、各種記念事業につきまして具体的な検討を進め、

これまでの下諏訪町の歩みを振り返るとともに、この町を築いてこられたすべての皆さまのご尽力に感謝をしながら、夢と希望にあふれる輝かしい未来に向けた事業を展開してまいります。

町長の重責を担わせていただき、四期目の町政運営はさらに高い成果を期待され、より真価を問われるものになると考えております。そのような中で、昨年掲げさせていただきました4つの重点目標に沿って現況をご説明申し上げます。

「安全に、健康で暮らし続けることができるまちづくり」では、先頃町内の「防災士」の資格取得者が100人の大台を超えました。地域防災における重要な役割を担っていただくことになる「防災士」の皆様は、一人ひとりの自助・共助・公助の意識も高く、着実に「防災意識

日本一の町」に向かって前進しているものと確信しております。

今後は組織として「防災士会」を立ち上げ、具体的な活動に取り組んでいただく予定となっております。各地区の自主防災組織の中でリーダー的な役割を果たしていただけるものと大変期待をしております。また、町内における災害時等の通信手段としております防災行政無線は、防災強化対策の一環としてデジタル化への移行を順次行っております。

健康の面では、「健康スポーツゾーン構想」の最終章へと展開を図っております。新艇庫の建設及び錬成の家の改修につきましては、国や県との調整を図る中で、一つ一つの課題を解決しながら着実に整備を進めると同時に、健康スポーツゾーン構想の範囲を拡大し、総合運動場管理棟の改修を行い、スポーツ環境の整備を進め、利用者の

皆様の利便性の向上を図っております。

「安心して子どもを産み、育てることのできるまちづくり」では、子ども未来基金の活用による教育支援を拡充させてまいります。中学生の海外研修事業のみならず、こどもらんど事業、こどもの居場所づくり事業などを通じて地域の方々とふれあうことで、豊かな人間性や社会性を身につけるための学習支援、悩みごと相談など、子どもたちの生活面から学習面まで幅広く家庭機能を補完する支援活動を推進し、総合教育会議の場において新しいメニューも検討させていただきます。と考えております。

また、2020東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致につきましては、ボートの強豪国であるドイツボート協会が視察に訪問され、県内唯一のボートコース並びに近隣の宿泊

町 諏訪 下 行 刊
課 務 総 集 編
係 災 防 情 報

〒393-8501
長野県諏訪郡下諏訪町4613-8
☎ 0266-27-1111
FAX 0266-28-1070
下諏訪町ホームページアドレス
<http://www.town.shimosuwa.lg.jp>
E-mail=jyoho@town.shimosuwa.lg.jp

施設、トレーニング施設を視察し、高い評価をいただきました。県との連携により進めております。ホストタウン事業と併せまして、皆様に夢と希望を与える事業として引き続き推進してまいります。

「安定的に働き続けることのできる地域、まちづくり」では、昨年取得いたしました、星が丘の防災リハビリテーション跡地の活用を具体化してまいります。過日プロジェクトからの答申では、あるもの・できるコトをつなぎ、起業創業による移住定住を進める場所、また、地域の方との交流を基本にコミュニティを構築するための拠点施設として活用を図ることを基本理念とし、段階的に拡大を図り、まちづくりのビジョンの共有と担い手を育成し、次の100年後の世代へつないでいくという提案をいただいたところでございます。今後は各分野の皆様に関わりを持っていただき、新たな発想による働き方改革、移住定住の促進を図るため、より効果的な活用方法を検討してまいります。また、町の工業支援の拠

点であります。「ものづくり支援センター」では、技術力のPRを積極的に行うため、各種展示商談会の共同出店事業に力を入れてまいります。時間をかけて取り組んでまいりました人材育成も結実し、世代交代をした若手の経営者の皆さんにも積極的に活用していただき、商工会議所との連携の中で新規の受注獲得、販路の拡大を図っているとありますが、農業につきましても、農業者の高齢化や担い手不足、また都市化の進展や獣害により、農業者及び農地の減少傾向が続いておりますが、関係機関との連携を図り、経営や技術に関する支援、地産地消の推進と特産品の開発、六次産業化を視野に入れた観光など他分野との連携も必要と考えます。八王子メッセ、南知多産業まつりへの積極的な出店により下諏訪町の農産物・加工品のPR、農産物の委託販売も継続的に行い、町民菜園の利用促進や農地の貸借支援、有害鳥獣駆除などの取り組みと併せて、町の農業を持続的に振興していきたいと考えております。

「住んでいることに誇りが持てる住民主体・協働のまちづくり」では、継続的に進めてまいりました三角八丁エリアを中心としたまち歩き環境も、儀象堂のリニューアルにより、ハード面の整備においては最終段階を迎えることとなります。今後につきましても、それぞれの施設が単独で機能するのではなく、歴史文化エリアとして埋蔵文化財センターも含め、一体的に捉えた導線も考慮するとともに、段階的に統一的な公共サインの設置を進め、全町のなまち歩き観光の定着を図り、観光消費額の倍増を目指してまいります。この町を愛する町民の皆様が、それぞれの地域の特性を活かし、認め合いながら、対等な立場で主体的に協力することで、町が誇るかけがえのない「宝」にさらに磨きをかけ、町民一人ひとりが心豊かに幸せに暮らすことができるまちづくりを推進してまいります。

四期目の公約としてお約束したそれぞれの事業を着実に実施しながら、「住民満足度100%の実現！」を目指し、町民の

皆様と手を携えながら、健康に笑顔で暮らし、下諏訪町に住んでいることに誇りが持てるまちづくりに邁進してまいります。ごぞいませ。

結びに、本年が町民の皆様そして町政にとりましても実り多き年となりますことを心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

下諏訪町長

青木 悟

